

労働関係シンクタンク 交流フォーラム

若者はいま

- 新しいライフスタイルを求めて -

労働調査協議会

調査実施の概要

調査対象：34歳以下

実施時期：2003年11月～2004年2月

参加組合：14単産・単組

サンプル：5,165人

調査回答者のプロフィール

都市部に住み、ほぼ半数が大卒以上の
ホワイトカラー層

若者を取り巻く環境

長引く不況による厳しい雇用環境

“年功”から“成果・業績”への移行

年金などの社会保障制度の見直し

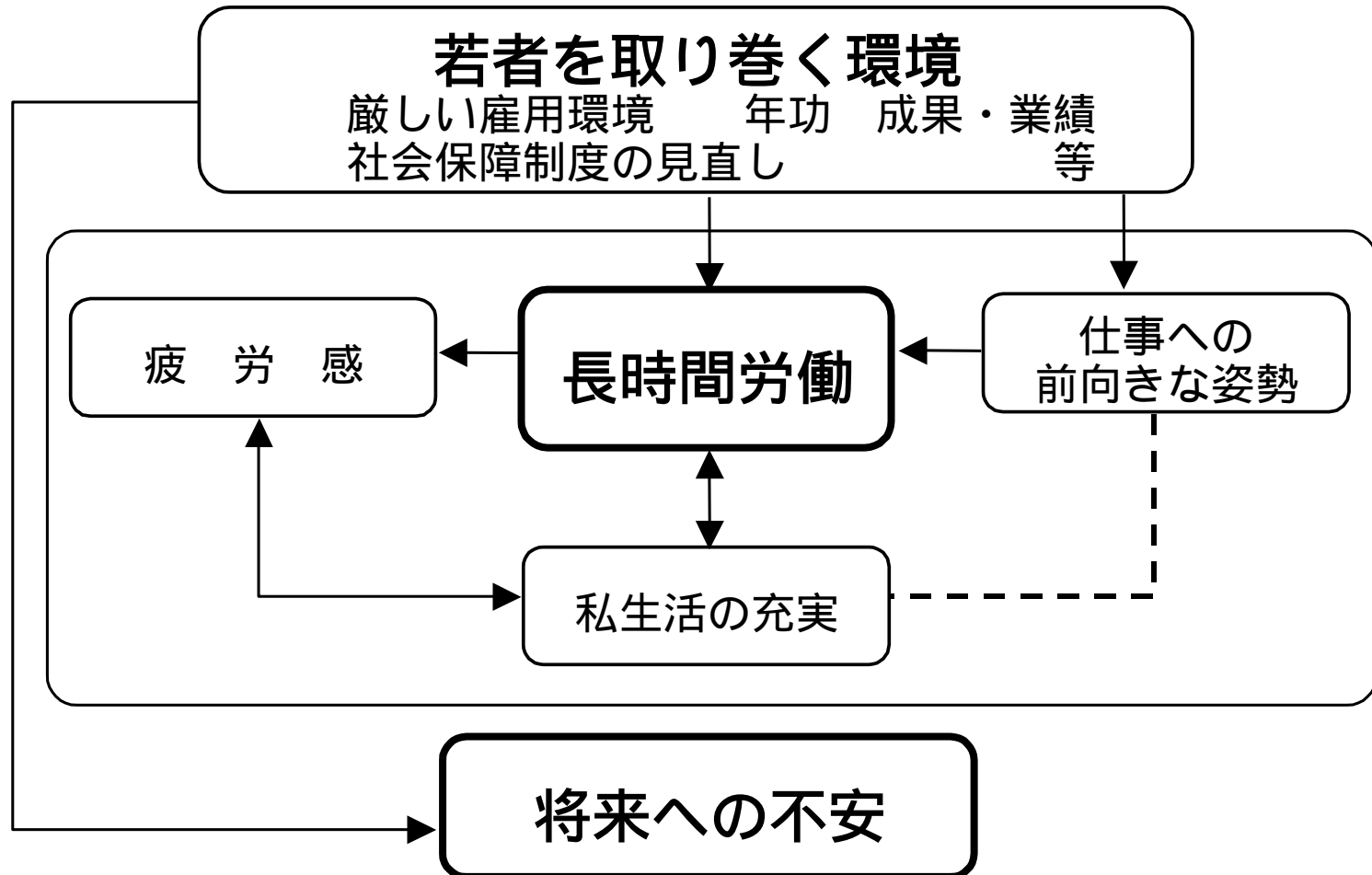
3つの論点

若者は疲れている？

若者は将来に不安を抱えている？

若者は仕事のみならず私生活にも充実を求めている？

調査結果の概念図



調査結果から見えること

1. 職業生活
2. 一日の生活時間
3. 疲労感
4. 私生活の充実・大切さ
5. 若者を取り巻く不安要素

若者はいま 論点の検証

若者は疲れている

将来にも現状にも不安

仕事もするし、私生活でもいろいろなことをしたい

これから...

将来的な雇用や収入に対する不安の強さ

働きやすい職場づくり

若者たちのライフスタイル

労働関係シンクタンク 交流フォーラム

若者はいま

- 新しいライフスタイルを求めて -

労働調査協議会

図表一覧

就職したいという気持ちが強かった

今の勤務先への就職希望

仕事に対する意識

勤務先にいる時間

民間男性の在社時間

子どもがいる夫婦の平均的な生活
サイクル

疲労感

健康に対する不安

自分にとって大切なこと

日頃の生活の中での志向性

仕事と私生活とのバランス
将来の生活不安

キャリア形成に対する不安

キャリア形成や能力開発のために
心がけていること

生活課題

- 結婚・子育て・持ち家 -

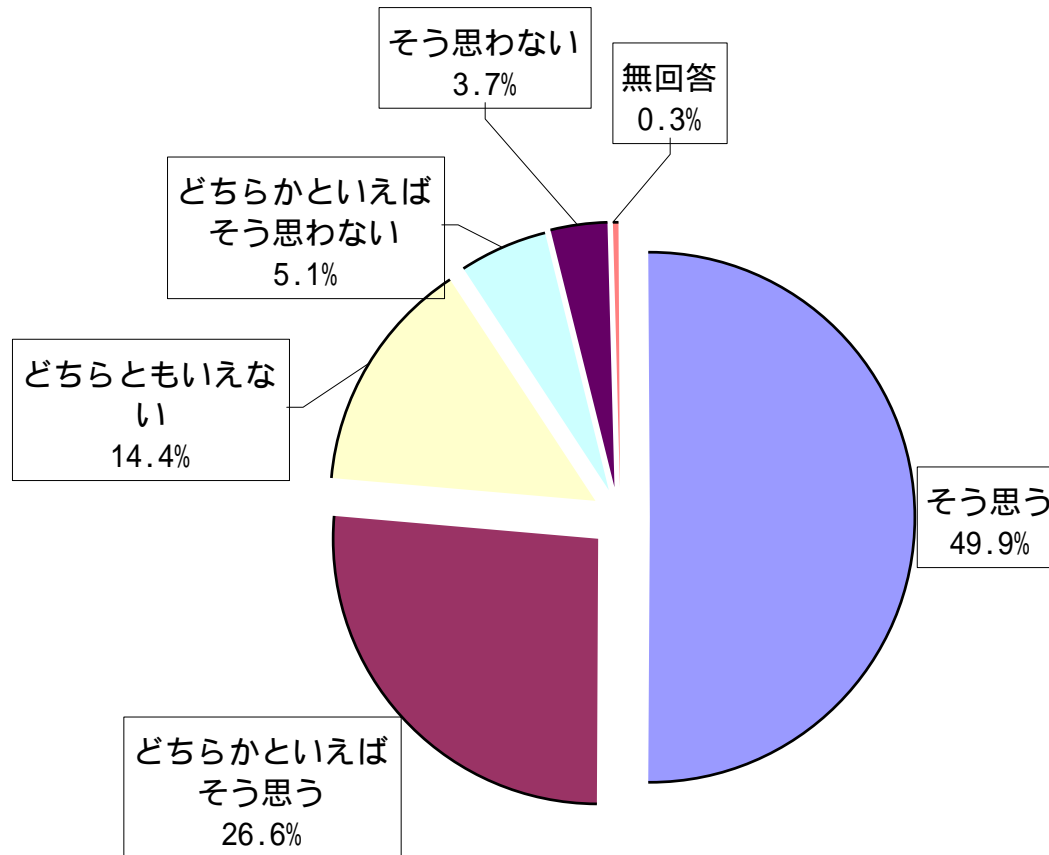
自分ひとりの収入では、生計を維持
できなくなる

共働き既婚者の平均的な帰宅時間

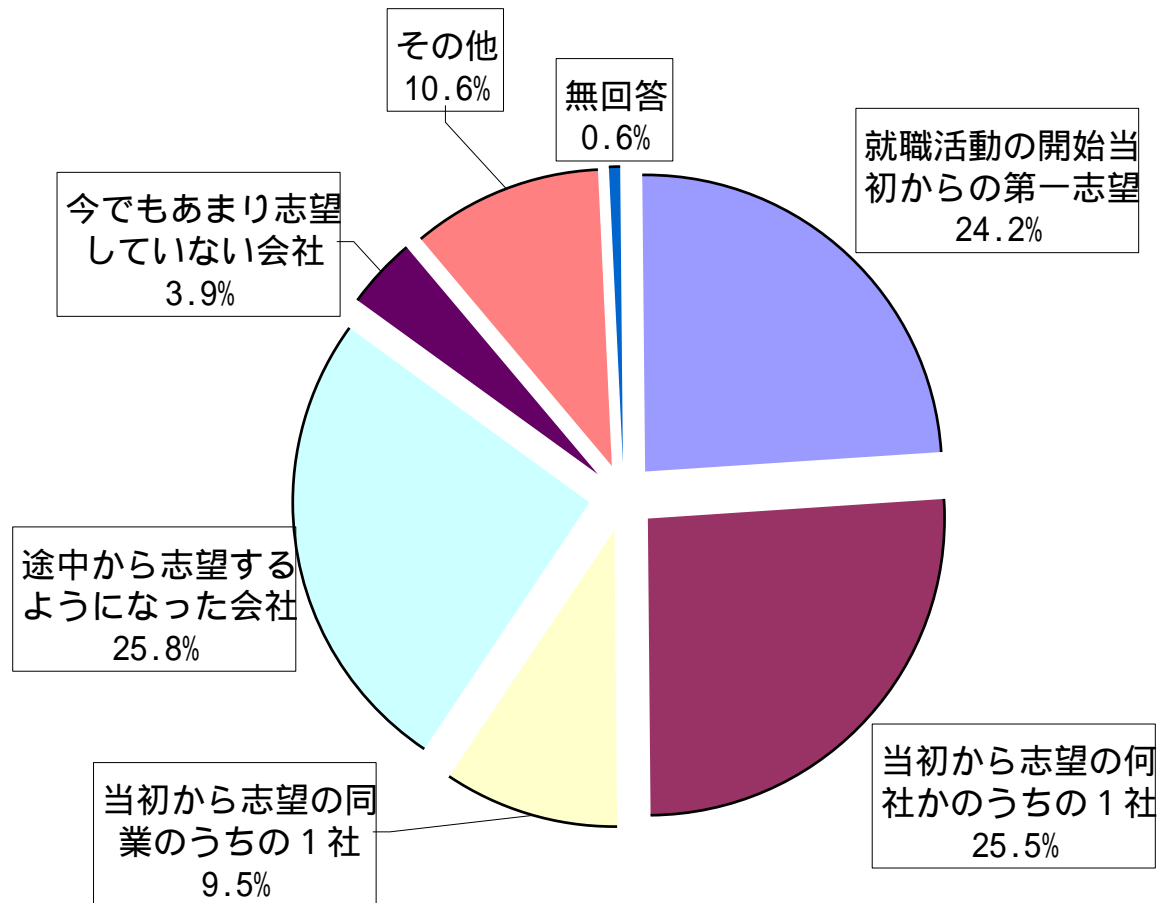
仕事と家庭の両立を難しく

しているのは・・・

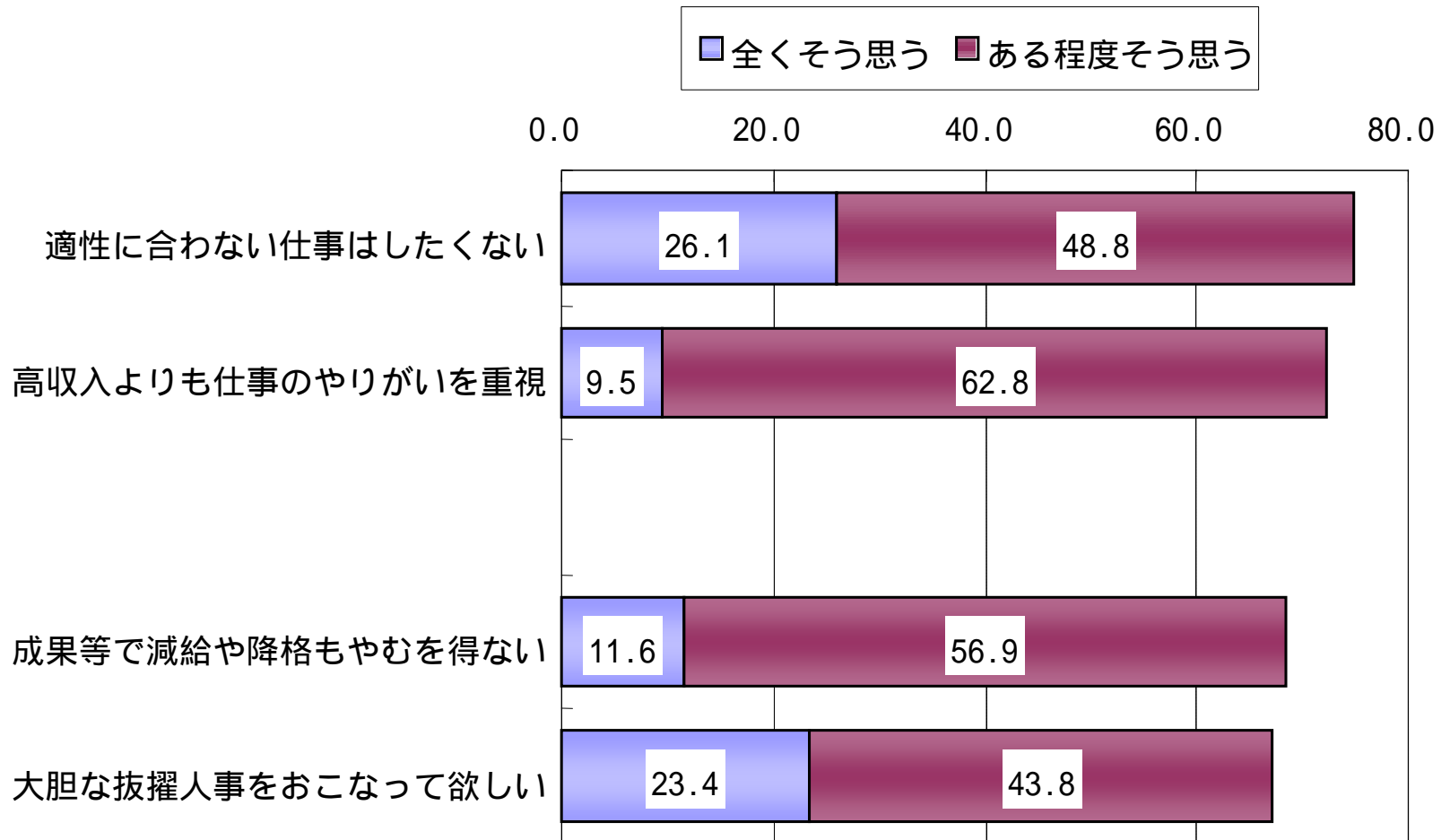
就職したいという気持ちが強かった



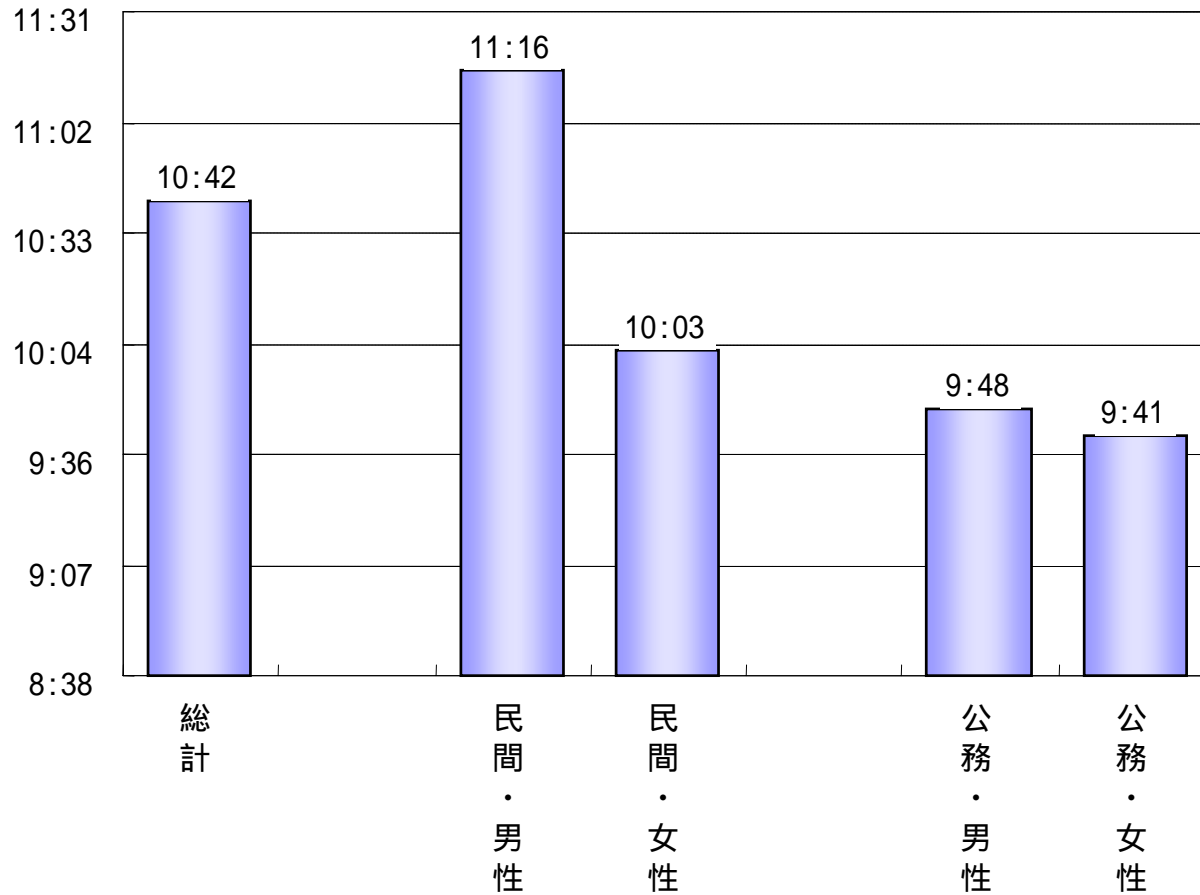
今の勤務先への就職希望



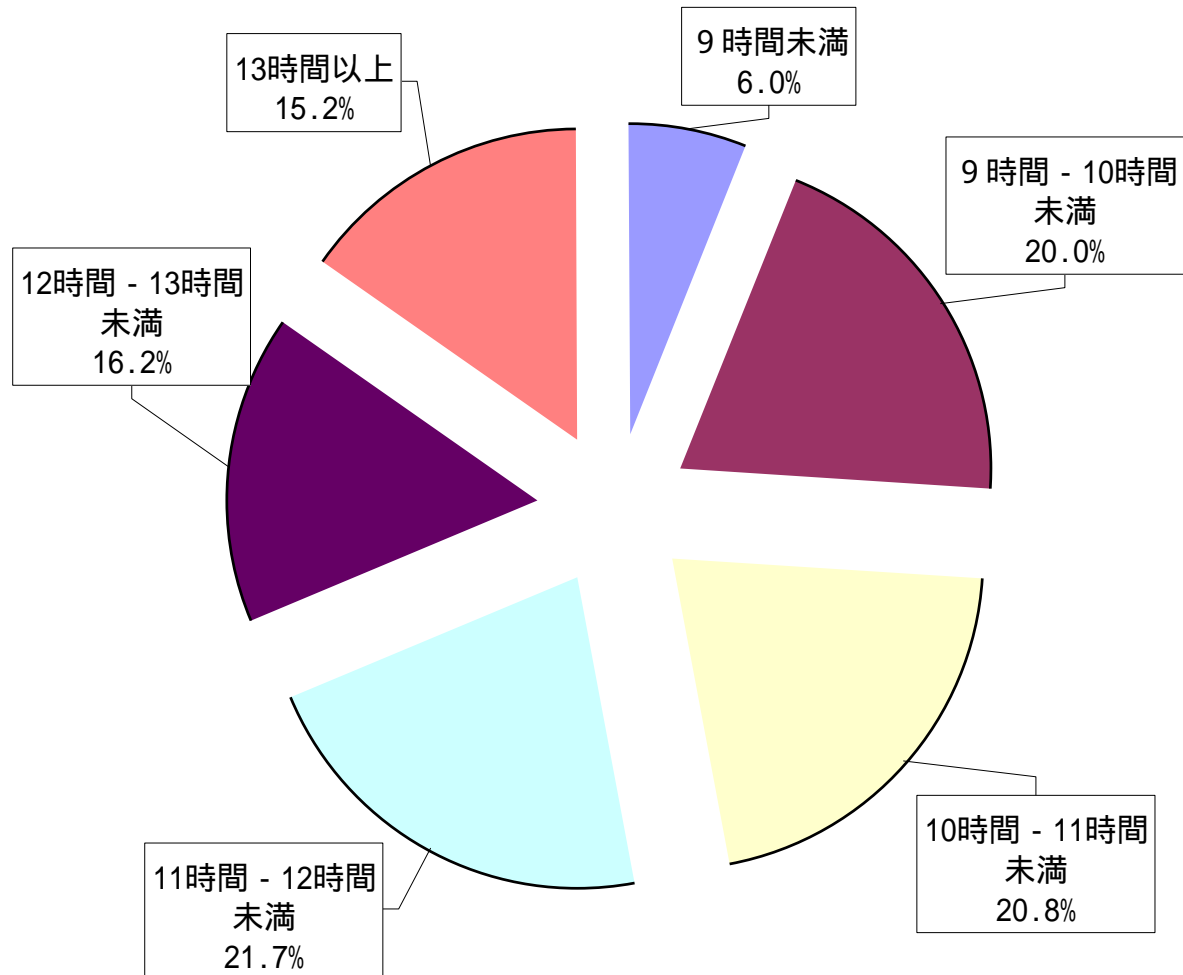
仕事に対する意識



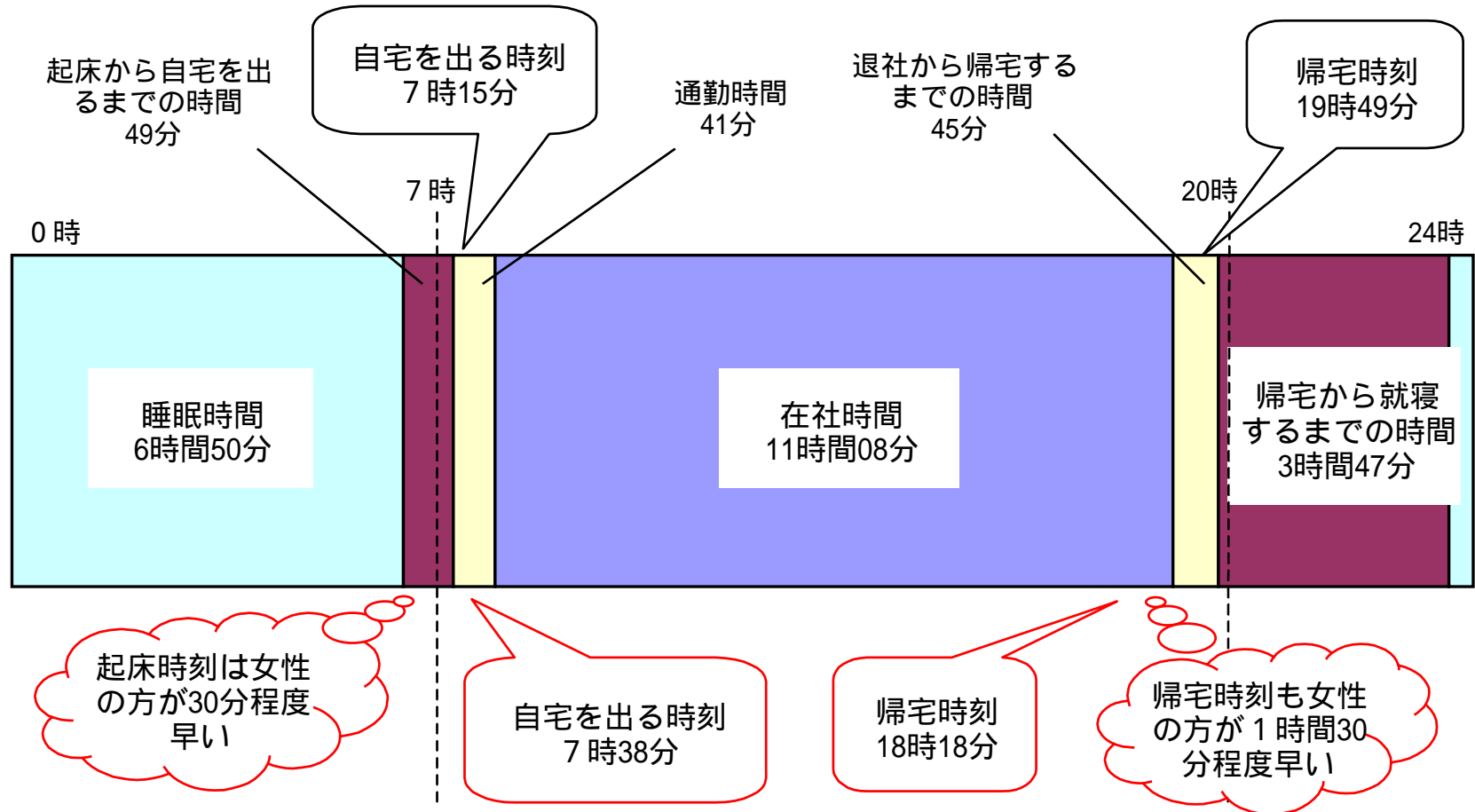
勤務先にいる時間



民間男性の在社時間



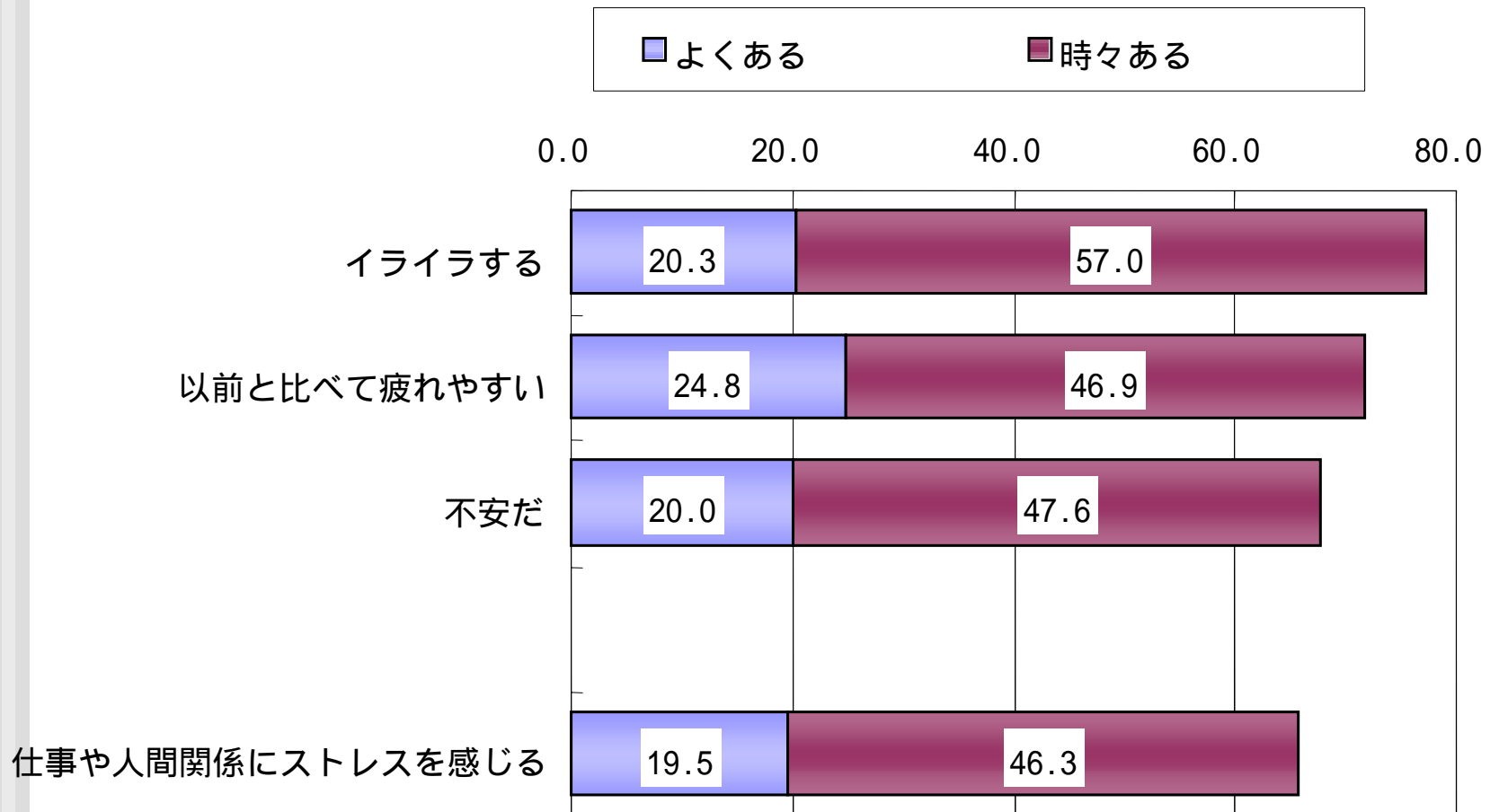
子どもがいる夫婦の平均的な生活サイクル



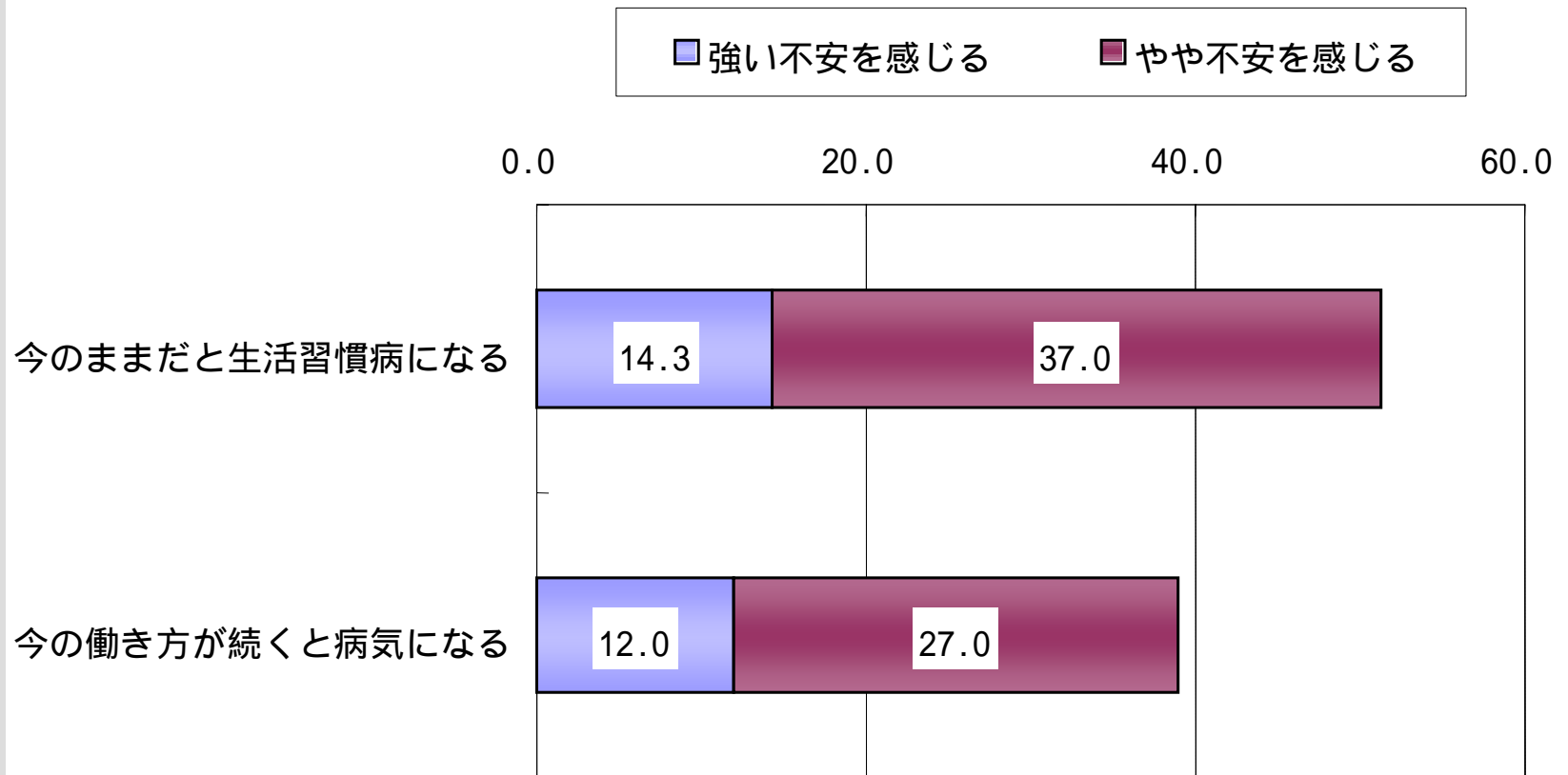
注) . 黒字は民間男性既婚者(子どもがいる方: 950件)のケース、下段の赤の囲みは民間女性既婚者(同: 82件)。



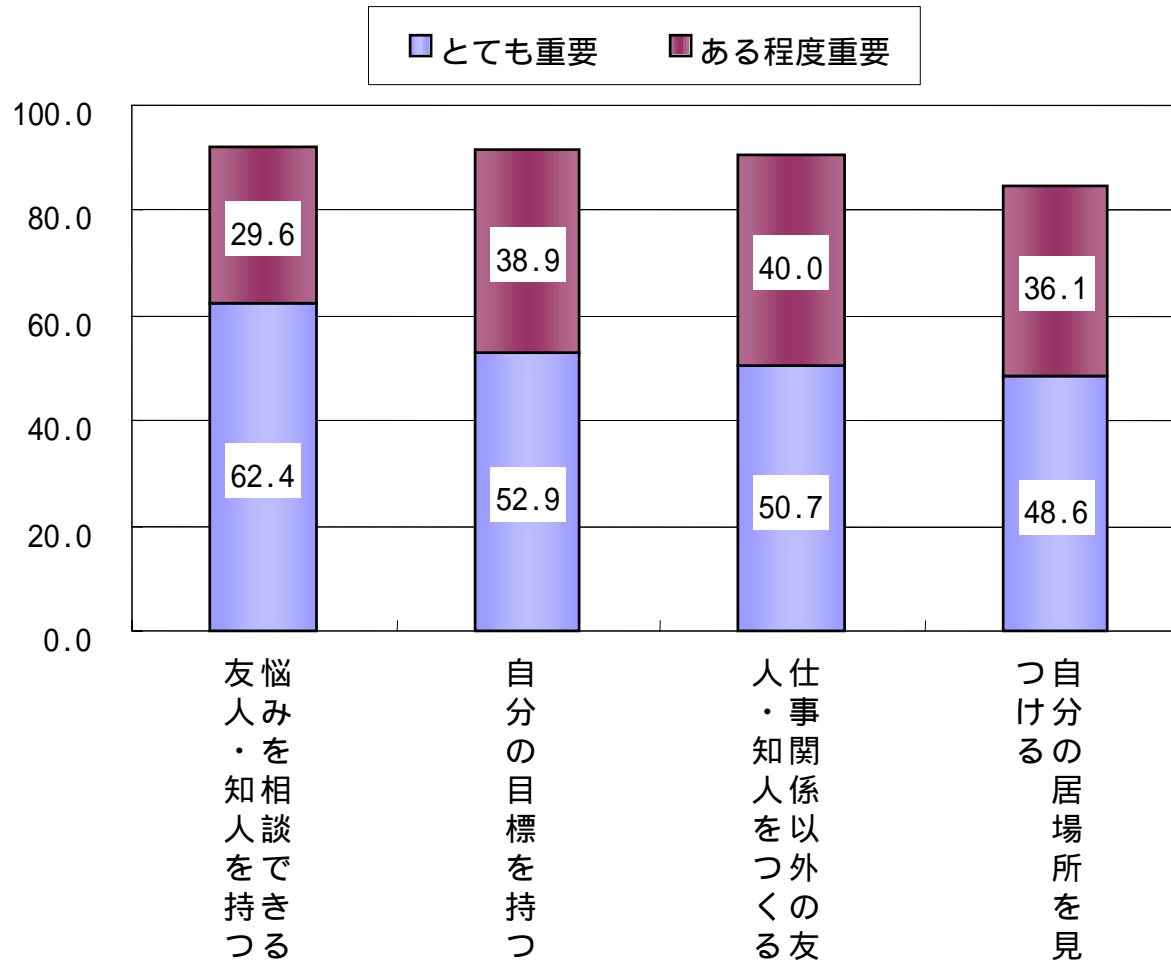
疲労感



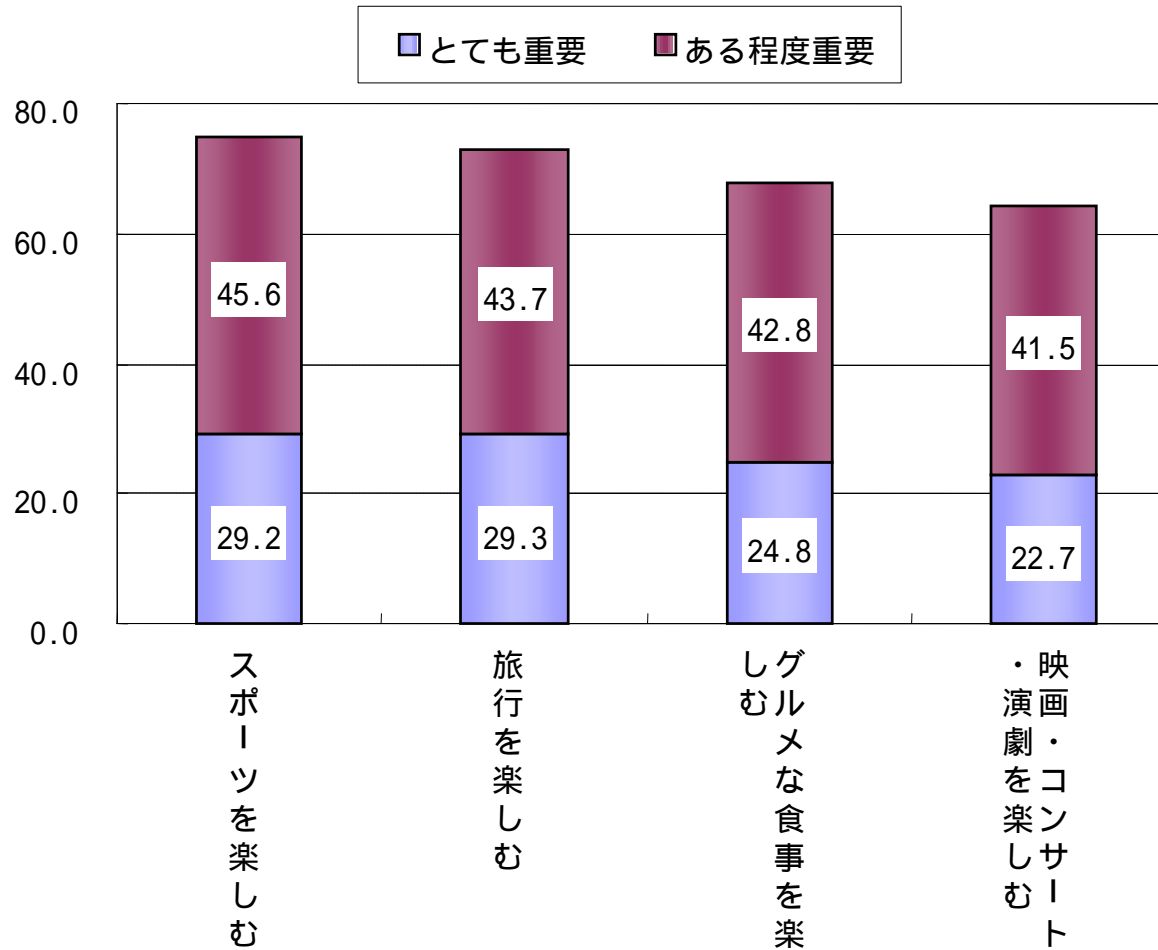
健康に対する不安



自分にとって大切なこと

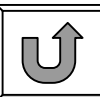
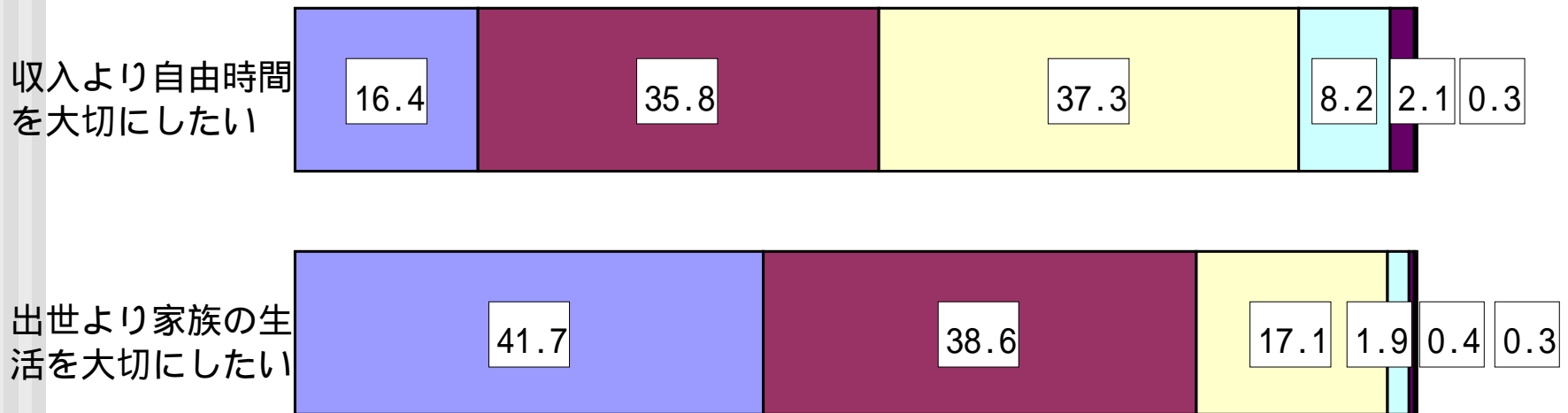


日頃の生活の中での志向性

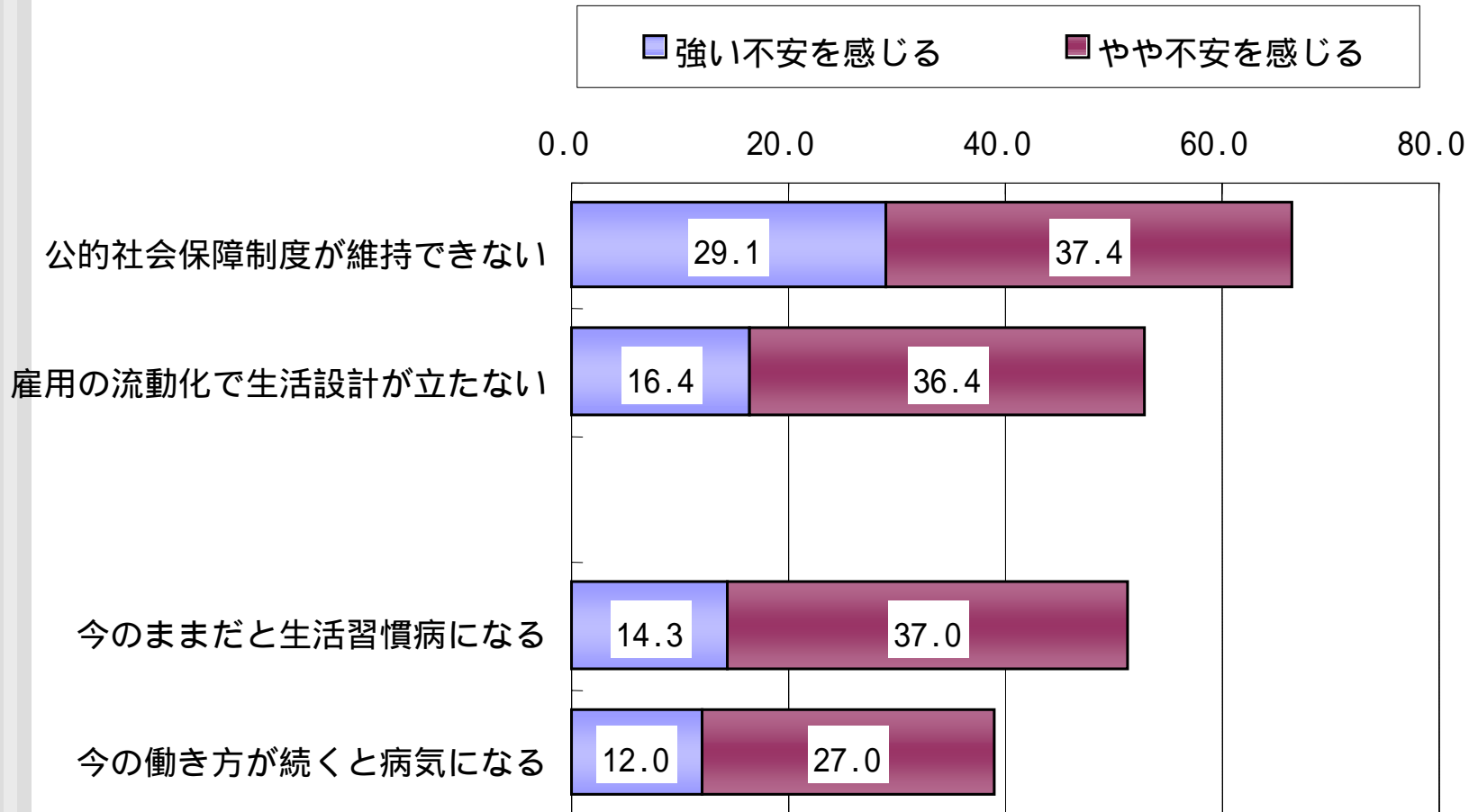


仕事と私生活とのバランス

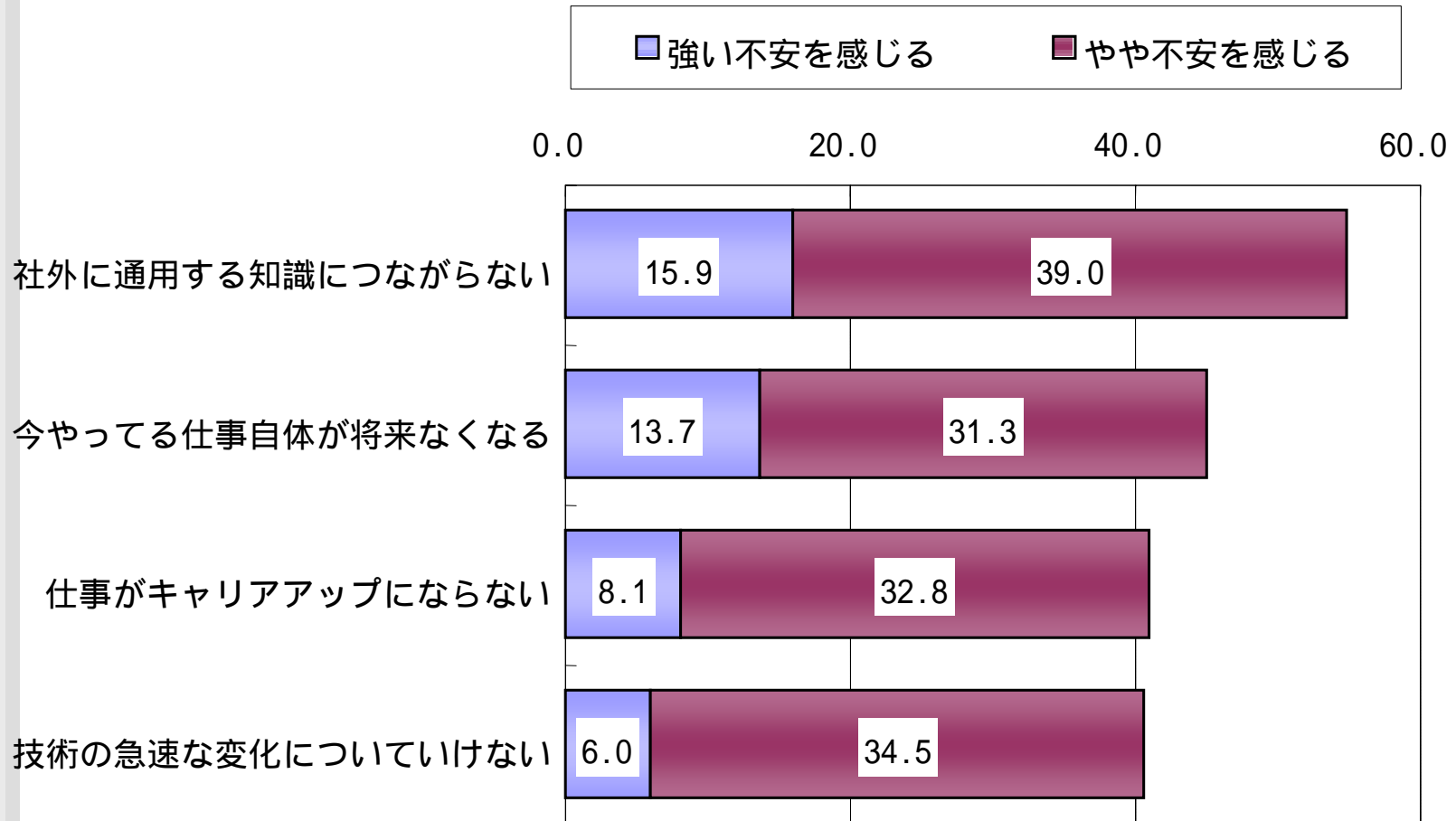
■ 賛成
 ■ どちらかといえば 賛成
 ■ どちらともいえない
 ■ どちらかといえば 反対
 ■ 反対
 ■ 無回答



将来の生活不安

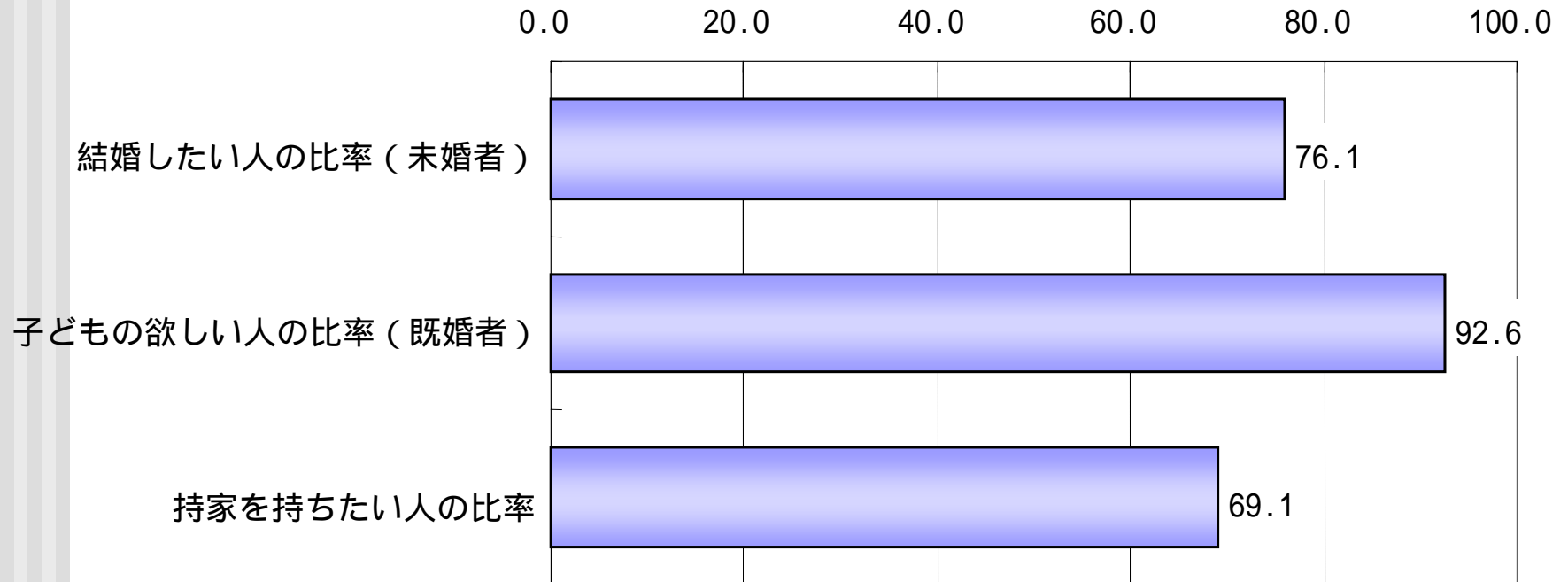


キャリア形成に対する不安

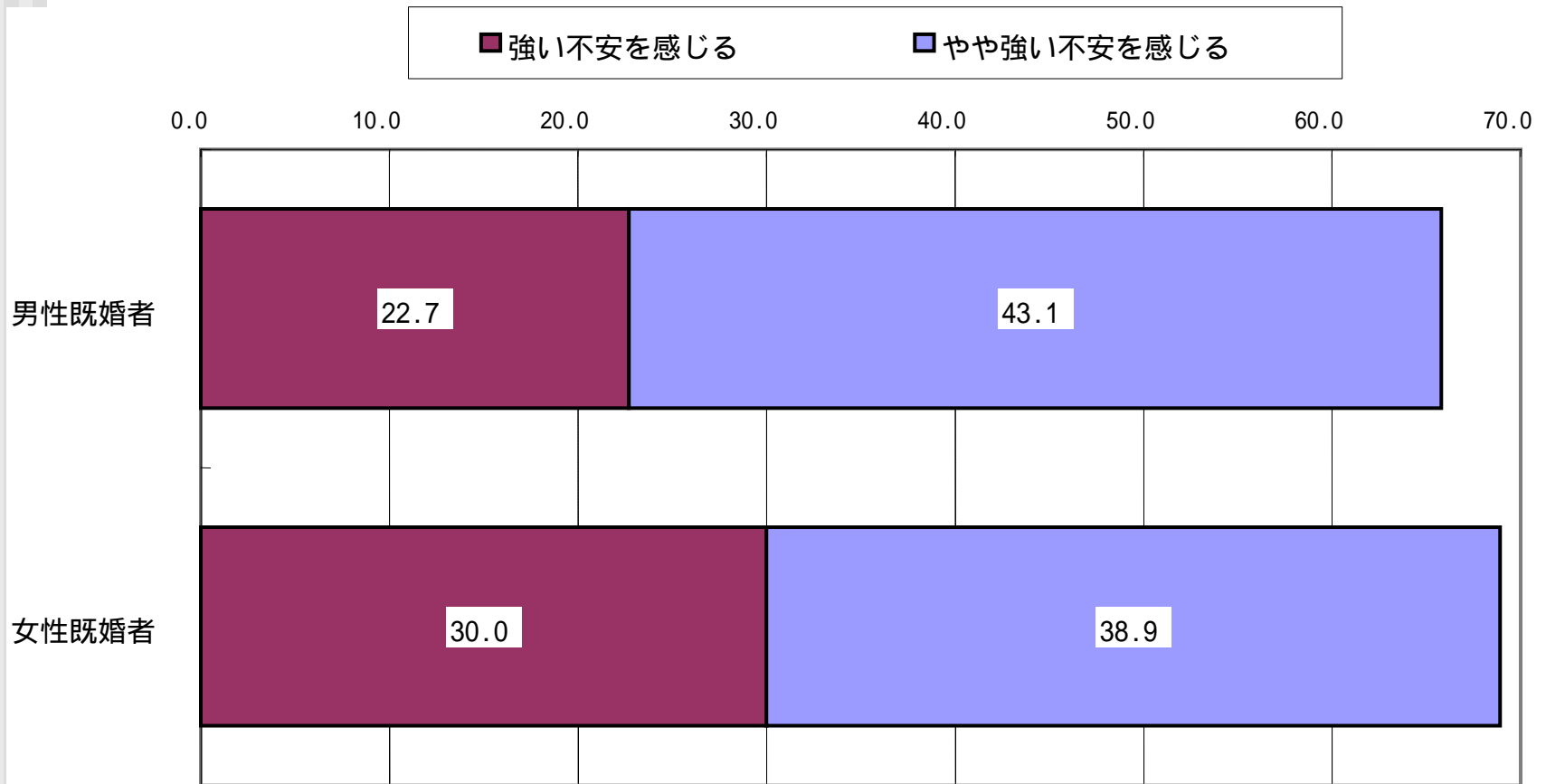


生活課題

- 結婚・子育て・持ち家 -

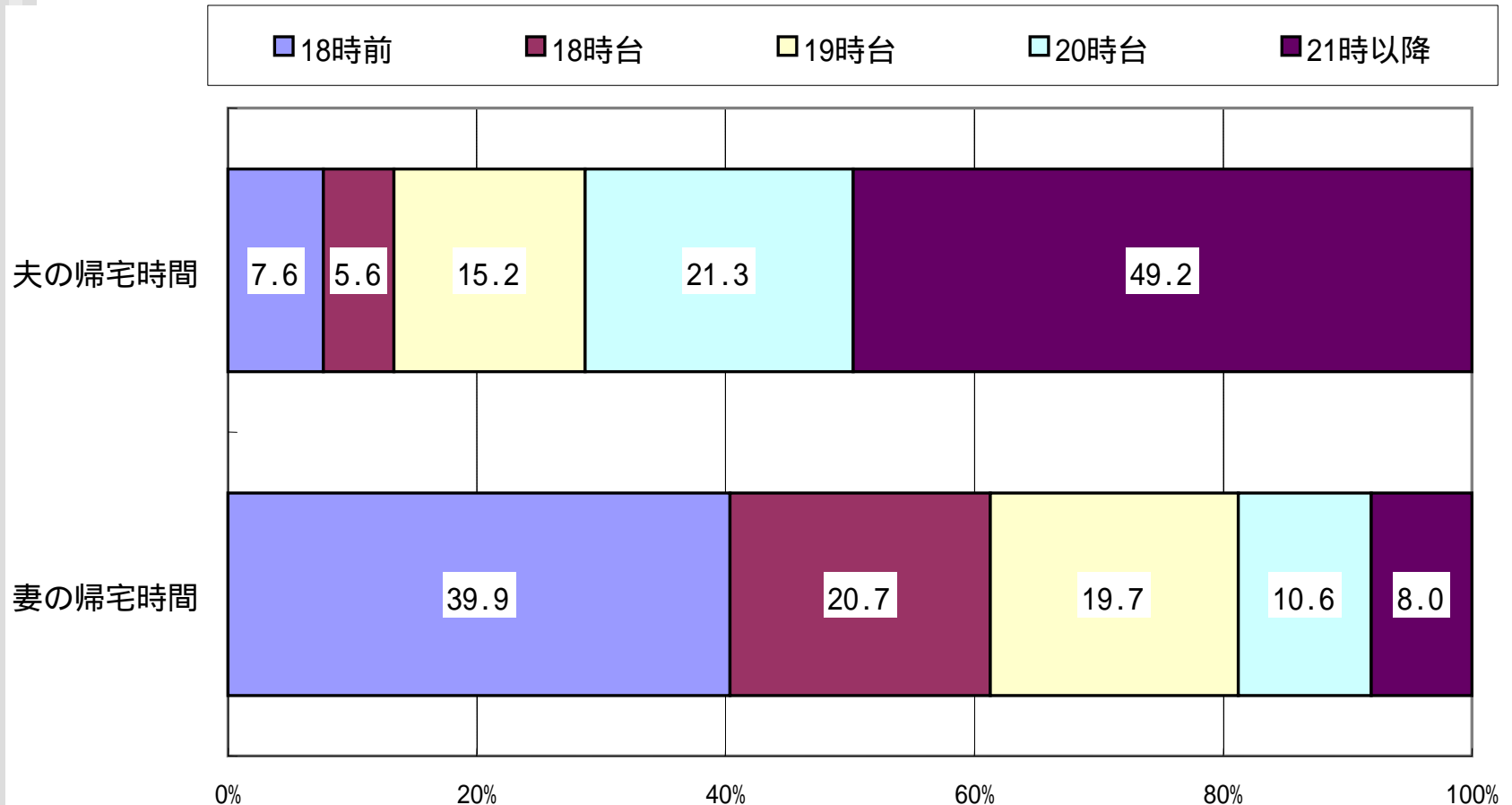


自分ひとりの収入では、 生計を維持できなくなる



注) . いずれも民間に勤めるケース。男性既婚者は1,505件、女性既婚者は590件。
公務の場合、男性既婚者で「強い不安を感じる」が31.3%(女性既婚者：23.2%)、
「やや強い不安を感じる」は42.0%(同：33.8%)。男性既婚者は288件、女性既婚者は142件。

共働き既婚者の平均的な帰宅時間



注) . いずれも民間に勤める共働き既婚者のケース。夫、妻の帰宅時間は配偶者がそれぞれ回答している。
夫の帰宅時間は197件、妻の帰宅時間は604件。

仕事と家庭の両立を難しくしているのは...

